



日差しを調整して  
いつも快適空間  
省エネ効果も！

省エネ効果

UVカット効果

飛散防止効果

快適ポイント1

冷暖房効率をUP  
年間通しての  
省エネが可能

※高い透明性を保ちながら優秀な遮熱断熱性能を実現

快適ポイント2

UVカット率  
99%以上  
日焼け対策に有効

※紫外線領域は JIS A 5759 の規定によるもの

快適ポイント3

万ーガラスが  
破損した際にも  
安全を確保

※JIS A 5759 飛散防止試験 A 法・B 法に適合

建築窓ガラス用フィルム「JIS A 5759※1」 第三者機関試験報告書取得済

※1 日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格です。建築物の窓、出入口などのガラスに用いる建築窓ガラス用フィルムについて定義されています。なお、アクリルやポリカーボネートなどのプラスチック（有機ガラス）は含まないとされています。2016年に改正があり、現行の規格に置き換えられました。



# GLAFIL 遮熱断熱 (Low-E)

## 年間を通して窓周りの快適空間造りに貢献します

### 特徴

1. 遮熱性能 (夏期) : 屋外からの日射熱の流入を軽減します
2. 断熱性能 (冬期) : 暖められた熱を外へ逃がしにくくします
3. 日照調整機能型 : 透明タイプ (クリア)

### フィルム特性表

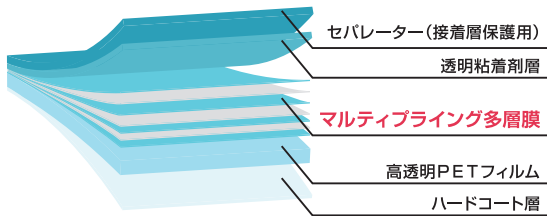
| 品番     | 遮蔽係数 | 日射熱取得率 | 日射 (%) |     |     | 可視光線 (%) |     | 紫外線透過率 | 熱貫流率 (W/m <sup>2</sup> ·K) |
|--------|------|--------|--------|-----|-----|----------|-----|--------|----------------------------|
|        |      |        | 透過率    | 反射率 | 吸収率 | 透過率      | 反射率 |        |                            |
| NS70LE | 0.61 | 0.54   | 48     | 30  | 22  | 68       | 19  | 1未満    | 4.6                        |

測定方法は JIS A 5759 に基づき透明フロートガラス (3mm 厚) にフィルムを貼付して測定しています。数値については実測値であり保証値ではありません。

### 構造

#### ★マルチプライング多層膜 (NS70LEに採用)

日射反射効率の良い“金属スパッタリング膜”を含む“ナノメートル”の薄膜を何層にも重ねた“マルチプライング多層膜”を採用する事で透過と反射の“光波長の選択”を可能にした製品です。(ナノメートル=100万分の1ミリメートル)



#### ■ 遮熱断熱効果 (熱が伝わりにくい)

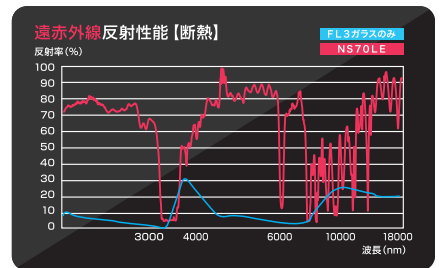
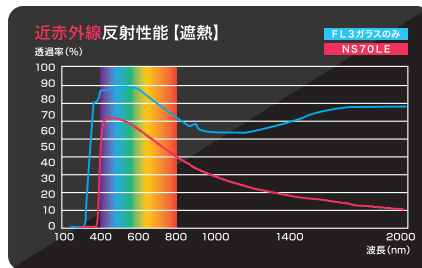
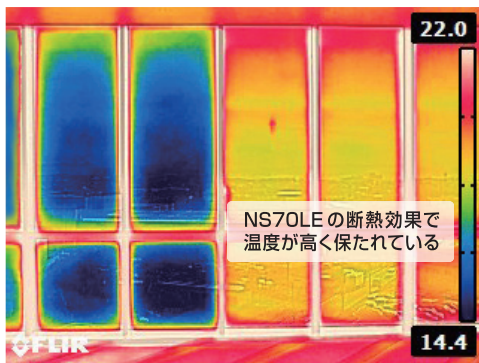
フロートガラス ..... 6.0 W/m<sup>2</sup>·K 【基準値】  
NS70LE ..... 4.6 W/m<sup>2</sup>·K 約23.4%軽減

#### ●熱貫流率 (U 値)

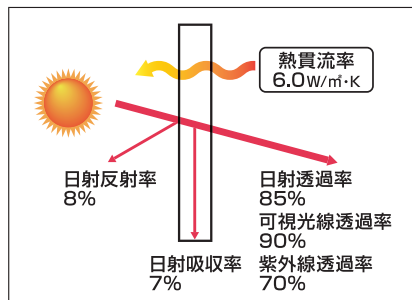
内外の温度差が「1℃」の時、「1時間」あたり「1m<sup>2</sup>」の面積を通過する熱量をワットで表したものです。(数値が低いほど熱が逃げにくいという事を表しています。)

### サーモグラフィーによる視覚イメージ

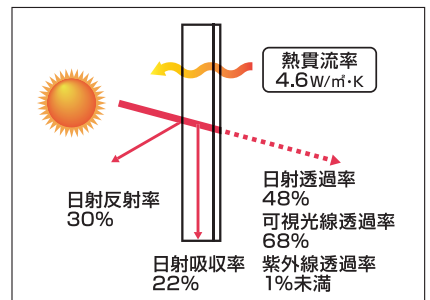
外気温約6℃ 室内温度設定20℃の環境下



#### 【フロートガラス (厚さ3mm)】



#### 【NS70LE 施工後】



#### 測定器具と内容

測定地域/方位: 愛知県名古屋市/西面のガラスへ施工

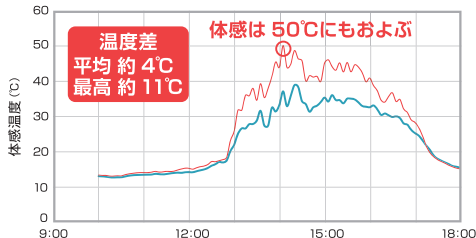
|   |                               |                                           |
|---|-------------------------------|-------------------------------------------|
| ① | 京都電子工業<br>アメニティメーター<br>AM-101 | 窓付近の温度、湿度、風速、グローブ温度を測定し、その体感温度(※1)を算出したもの |
| ② | デルタオーム社<br>日射計<br>LP471PYRA   | 窓ガラスを介して室内に流入する日射量(紫外線、可視光線、近赤外線)を測定したもの  |
| ③ | T&D社<br>紫外線量計<br>TR-74Ui      | 窓ガラスを介して室内に流入する紫外線量を測定したもの                |

※1 ●体感温度 = (温度 + 平均輻射温度) ÷ 2 ●平均輻射温度 = 人体が周囲から受ける熱放射量を平均化した温度表示した数値

#### ① 窓付近の体感温度 冬期 (2月) 10:00~18:00

— ガラス+NS70LE — ガラスのみ

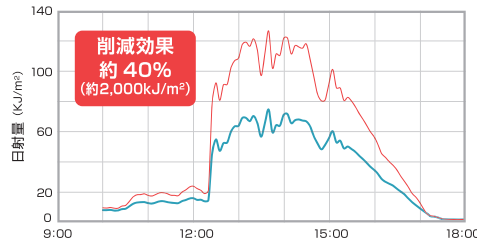
NS70LEを貼付した状態の場合、平均約4℃最高約11℃の抑制に



#### ② 日射の流入量 冬期 (2月) 10:00~18:00

— ガラス+NS70LE — ガラスのみ

NS70LE 貼付による日射流入量の削減効果は 約40%



#### ③ 紫外線の流入量 冬期 (2月) 10:00~18:00

— ガラス+NS70LE — ガラスのみ

NS70LE 貼付による日射流入量の削減効果は 約75%

